

城をひろげること

実戦を経験した城の拡張・改修の一例



地中から姿を出した富岡城の石垣(二の丸西面)

右側の石垣は増築とみられる部分で、出隅は破城の痕跡が。増築部分(後世の石垣)の方が、石材の加工度は低い

江戸時代初めに起きた「島原の乱」は、島原・天草地方のキリシタンが起こした一揆であった。この乱ではキリシタンらが原城に籠城し、幕府軍相手に壮絶な戦闘を繰り広げたことはよく知られている。天草諸島の農民も一揆に多数加わっており、島原半島での戦闘に呼応して、天草でも領主寺沢氏の支配拠点に対する攻撃が行われ、代官が戦死している。その時、一揆軍の攻撃目標となったのが富岡城である。下島のほぼ北端に位置し、本島と砂州で結ばれた小島に城が築かれている。そうした立地や城の構造は、興味深いものがある。

乱の終息後、この城主となった山崎家の史料から、富岡城についてみてみよう。

【参考文献】 天草古文書会編『天草古記録集2』、1980年



写真1

富岡城本丸からみた旧城下町(城の東の方向)。下島との間に形成された砂堆上に町が展開していた。島原の乱後入城した山崎氏は、この方面からの攻撃に備えた防衛施設を整備しようとした。



写真2

本丸からみた三ノ丸、大手方面(点線内)。右下の池が袋池で、内堀兼用水である。籠城の教訓から整備された。池を塞ぎ止めるために造られたのが百間石垣で、現在も道路となって生きている。は砂洲で、内側が良港となっており、直接城山の下に船が着岸できる。

寛永15年(1638)4月、山崎家治は備中成羽から4万石で天草へ転封となった。家治は6月に天草入りすると居城選定のため島内を巡検し、結局富岡を引き続き居城とする旨、老中・酒井忠勝に報告した。富岡は前頁の地図を見てわかるように、肥前・肥後への海の路を扼する要衝の地にある。家治自身認めるように「事之外能湊」なのである。しかし皮肉なことに、良港故に乱では海側から容易に城山に一揆軍が取り付き、今でも寄港した船から勝手に城山に上陸するので「無用心」であり、「良港なのもかえって迷惑。方々の者に見晒されている」と本音を吐いている。^(要書)

さて入国した家治は二の丸に小屋掛して住んだが、「二ノ丸三ノ丸ようかい悪敷御座候 加様之体故百性蜂起仕無と近国之うつけ者申出候」と城郭の貧相さが反乱の原因だとの悪評が「無念」だという。そして三の丸を屋敷地とするためにまず拡張することとした。その拡張と併行した富岡城の改修では史料を見るかぎり、城下の町割、百間石垣(袋池)と大手周辺の柵形構築が行われた。水不足の解消も先決事項だったのだろう。城山でも井戸掘削がすぐに開始された。これらは、反乱によって直面した城郭の防御上の弱点を補強する意味合いが濃いいえそう。それと、その家格に相応しい城郭建設が予定されたことで規模も従来よりは大きくなったのだろう。そうした工事は、島原の乱を経験した強い危機感から性急に行われたことは想像に難くない。それを裏付けるかのように、石垣普請を負わされた足軽や奉公人の多くが備中に帰ると言い出した。乱で地元の労働力が亡失しているだけに、彼らへの負荷はより大きくなったのだろう。

そして、天草の経済的実情が城郭の改修にも影響を与えることになった。家治は入国と同時に領内の生産性を調べた。すると数字上1万石の加増になっているものの、乱による荒廃や自然条件もあって実質的には生産量がかなり低く、「これでは今まで通りの奉公は不可能」と酒井忠勝に訴えている。これに対し幕府は、御城米として3千石を預けることに決定した。すると急遽、城付米のための蔵が必要となるが、富岡にはそれに相応しい土地はないと、家治は言う。彼はたった3年で讃岐丸亀に転封となった。かわって天草に入った戸田氏時代の絵図では、拡張された三の丸に大きな米蔵が描かれており、この時には三の丸は城主の屋敷ではなく米蔵に変質していた可能性が高そう。

このようにみえてくると、実戦経験に基づく軍事機能の改善と、領分の維持に必要な施設を新たに建設するという2つの大きな理由によって、富岡城の拡張・改修や拡張が行われたことがわかる。例えば百間石垣によって塞ぎ止められて造られた袋池は、城下の水道源とする計画があったらしい。それは同時に「水丈夫に二溜候ハ>城之要害ニも可罷成」ものであるとの認識も示している。この時期、城郭改修に際しては、例えば必需物資の管理と集散というような、経済的機能が遂行されるかどうかを考慮したものでなくてはならなかったのだろう。

近世城郭は確かに軍事施設である。しかし、それだけでは本質を見失う危険も大きそう。



"Shiro Fumi" No.14 The News of Himeji Center for Research into Castles and Fortifications.